

## 平成27年度 公益財団法人神奈川県消防協会事業報告

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
I 会議	<p>1 次の会議を開催し会務の進展を図った。</p> <p>(1) 評議員会 ・定時 於 産業貿易センター</p> <p>(2) 理事会 ・第1回定時 於 シルクセンター ・第2回定時 於 シルクセンター</p> <p>(3) 正副会長会議 ・第1回 於 シルクセンター ・第2回 於 シルクセンター</p> <p>(4) 表彰審査委員会 ・於 シルクセンター</p> <p>(5) 7地区消防団事務担当者会議 ・於 シルクセンター</p> <p>(6) 消防団事務担当者会議 ・於 神奈川県消防学校</p> <p>2 次の会議に出席し、会務を調整した。</p> <p>(1) 日本消防協会役員会議 ア 理事会・評議員会 ・於 日本消防協会 会長・石切山評議員出席 イ 理事会 ・於 日本消防協会 専務理事 武田事務局長出席</p> <p>(2) 関東甲信地区消防協会会議(栃木県) ・於 栃木県宇都宮市「ホテルニューイタヤ」 会長・事務局長出席</p> <p>(3) 関東甲信地区消防協会実務担当者研修会(栃木県) 事務局長・事務局員1名出席</p> <p>(4) 関東甲信地区消防協会事務局長会議(千葉県) ・於 千葉県勝浦市「ホテル三日月」 事務局長・事務局員3名出席</p>	(公2)	5/27 5/8 2/9 8/18 2/9 8/18 4/27 7/8 6/19 9/10 6/3~4 7/2~3 11/11~12
II 表彰	<p>1 平成27年度神奈川県消防功労者表彰式 ・神奈川県立青少年センター</p> <p>(1) 消防団の表彰 ア 表彰旗 1団 開成町消防団 イ 竿頭綬 3団 横浜市港南消防団、川崎市宮前消防団、中井町消防団</p> <p>(2) 消防団員の表彰 ア 功績章 200名 イ 功労章 1名 ウ 勤続章20年 278名 エ 精勤章20年 278名 オ 精勤章10年 613名 カ 精勤章 5年 856名</p> <p>1 第68回日本消防協会定例表彰式 ・於 日本消防協会</p> <p>(1) 特別表彰 まとい 横須賀市消防団 (2) 表彰旗 1団 逗子市消防団 (3) 竿頭綬 3団 川崎市多摩消防団、横浜市港北消防団、 横浜市伊勢佐木消防団</p> <p>(4) 功績章 20人 (5) 精勤章 46人 (6) 勤続章 150人 (7) 優良婦人消防隊 1隊 横須賀市池上婦人消防隊 (8) 優良婦人消防隊員 湯河原町婦人消防隊 室伏 晴美</p>	(公2)	3/28 3月8日

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)		
Ⅲ 指導研修・ 調査研究	1 神奈川県消防学校において次の研修会を開催した。	(公1)	6/15		
	ア 消防団幹部研修(1日研修) ・対象者 分団長以下 ・出席者 59団 60名				
	イ 消防団副団長研修(1日研修) ・出席者 54団 57名				
	ウ 女性消防団員等研修(1日研修) ・対象者 女性消防団員、婦人消防隊員等 ・出席者 女性消防団員 31団 50名 婦人消防隊員等 10名 計60名				
	エ 消防団分団長研修(1日研修) ・出席者 54団 54名				
	オ 正副団長研修会(1日研修) ・講師 神奈川県消防課長 原田 潔 ・出席者 59団 186名				
	カ 消防団員指導者講習(1日講習、計9回) ・対象者 副分団長以下 ・出席者 59団 408名				
	キ 消防団員指導員研修(1泊2日研修) ・対象者 副団長以下 ・出席者 53団 53名				
	ク 消防団幹部地震対策特別講習(1日講習) ・対象者 分団長以下 ・出席者 59団 99名				
	ケ 消防団員幹部候補研修(1日研修) ・対象者 分団長以下 ・出席者 57団 57名				
	2 第22回全国女性消防操法大会の実施 横須賀市女性消防隊出場 ・出場隊 46隊 322名 ・参加者 1,700名			(公2)	10/15
	3 第21回全国女性消防団員活性化大会(佐賀県)への参加 ・於 佐賀市文化会館 佐賀県佐賀市日の出1-21-10 参加者消防団員38名(女性36名、男性2名) 消防職員3名 協会事務局4名			(他)	10/29,30
	4 総合的防災に係る指導及び講習に関する調査研究消防防火に関する 国際的団体への参加助成消防学術研修会への参加助成 (1) 第42回消防団幹部特別研修(3泊4日研修、1名) ・参加者 団員1名(湯河原町消防団二見副団長)			(公1)	1/12~15
	5 第15回消防団幹部候補中央研修 男性消防団員の部(2泊3日、男3名)				2/3~5
	6 第15回消防団幹部候補中央研修 女性消防団員の部(2泊3日、女2名)				2/17~19
	Ⅳ 福祉対策			1 消防団員に対し次の区分により弔慰金・見舞金を贈呈した。	(他)
(1) 弔慰救済 29件(4.1~9.30 12件)(10.1~12.31 17件)					
(2) 障害及び傷病救慰 0名					
(3) り災救慰 0名					
2 消防慰霊碑管理委員会の行う慰霊祭に補助金を交付するとともに、 同委員会の事業に協力した。		(他)	年間		
(1) 神奈川県殉職消防職団員慰霊祭 ・於神奈川県消防学校 ・参加者592名			10/21		
(2) 委員会 ・第1回 於 シルクセンター ・第2回 於 シルクセンター		4/24 8/4			
3 神奈川県消防長会とともに神奈川県消防殉職者遺族会が行う 消防殉職者遺族に対する援護活動を積極的に支援した。 遺族会理事会 ・第1回於シルクセンター ・第2回於シルクセンター	(他)	年間 4/24 8/4			

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
V 防火思想の啓発	火災予防ポスターを配布し、火災予防思想の啓発高揚を図った。	(公3)	10,2
VI 消防力の充実強化	1 消防団員確保のための普及・啓発活動の推進を図った。 2 日本消防協会が交付する防災車両等の積極的な配置要請を行った。 ・防災活動車(小型自動車)1台 藤沢市消防団に決定した。 3 青少年消防クラブ及び婦人消防隊の育成強化と普及広報活動を推進した。 4 女性消防団員制度導入に伴う普及啓発支援活動の支援を行った。 5 災害救援ボランティア団体との連携 災害救援ボランティア協会に交付金を交付し、活動の支援を行った。 6 消防団活動の助成 各消防団(支部)に交付金を交付し、活動の充実を図った。	(公1) (公1) (公1) (公3) (公3) (公1)	年間 年間 年間 年間 年間 年間
VII 日本消防協会との協力	1 消防個人年金制度の普及を図った。 職団員合計954名 2 消防団員福祉共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 58団 2本部 1協会 12,868名 (2) 福祉共済の取扱 3 婦人消防隊員等福祉共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 1市 2町 44名 (2) 共済金の取扱 4 全日本消防人共済会の行う火災共済制度の普及を図った。 (1) 加入状況 8団 1協会 544名 (2) 共済金の取扱 5 消防育英会の行う育英事業の普及を図った ・奨学金受給者1名 6 全国消防殉職者慰霊祭へ遺族2名が参列した。 7 第21回全国女性消防団員活性化大会(佐賀県)に参加し、女性消防団員の育成と活性化を図った。 8 日本消防協会が主催する第42回消防団幹部特別研修へ団幹部が出席し、知識技術の向上を図った。(3泊4日、1名) 9 日本消防協会が主催する第15回消防団幹部候補中央研修へ若手男女消防団員が出席し、将来の幹部養成を図った。(2泊3日、5名)	(他) (他) (他) (他) (他) (他) (他) (公1) (公1)	年間 年間 1/1現在 年間 4/1現在 年間 4/1現在 年間 4/5 9/11 (他) 10/29~30 1/12~15 2/3~5 2/17~19

## 事業区分

- (公1) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化事業
- (公2) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防団員の士気の高揚と組織の強化事業
- (公3) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための地域連携の強化事業